

第2学年 国語科 シラバス

◎中学校の国語科では…

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる

ことを目標としています。

◎中学2年生の国語科では……

A「知識及び技能」

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。

B「思考力、判断力、表現力等」

論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにします。

C「学びに向かう力、人間性等」

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

☆本校ではこれらの目標を次の「学習計画」「評価の観点・評価の方法」「授業の特色」を基に達成を目指します。

原山中の国語科はこんな授業です！

様々な学習プリントを活用して、わかりやすい授業を目指します。

疑問、わからない点について気軽に質問できます。



自ら設定した課題について調べたり、作品を創作したり、様々な活動を取り入れて、国語力を高めます。

国文法については、工夫して覚えたり、練習問題を繰り返したりします。

古典の学習の際、資料を見たり暗唱をしたりして、興味をもてるよう工夫します。

漢字や語句の基本的な知識の定着を目指すと同時に美しく整った字を書く練習します。

評価の観点

国語科では次の3つの観点で評価します。

知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。

思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

学 習 計 画			
期	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	・虹の足	詩の表現を味わい、身のまわりの意外な発見に気づく。
		質問する力をつける	伝え合う内容を検討して、より良い質問をする。
		【言語】話し言葉と書き言葉	話し言葉、書き言葉、それぞれの特徴を捉える。
	5	・タオル	描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深める。
		新聞の投書を書く	社会生活の中から題材を選んで書く。
		漢字の広場①	間違えやすい漢字を書き分ける。
	6	◆書写（硬筆）	硬筆で、横書きの罫紙に漢字と仮名を調和させて書く。
		・日本の花火の楽しみ	筆者のものの見方や考えかたを捉え、日本の花火の魅力についてまとめる。
		・水の山 富士山	富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。
		【言葉の決まり①】自立語	活用のない名詞・連体詞・副詞・接続詞・感動詞について理解する。
	7	【言語】方言と共通語	方言と共通語の特徴について知る。
		【話す】効果的な資料を使って話す	資料や機器などを効果的に使い、論理的に話す。
【言語】敬語（知識・理解）		敬語のはたらきや特徴について知る。	
2 学 期	9	・夏の葬列	主人公の心の動きをとらえ、人間の生き方を考える。
		・短歌の味わい	詩情を味わい、自らの感性を磨く。
		漢字の広場②	漢字の成り立ちを知る。
		話を聞いて自分の考えと比べる	友達のスピーチを聞いて、自分の考えと比べる。
	10	【言葉の決まりの学習②】	活用のある自立語を学習する。
		【伝統文化】・敦盛の最期	言語の響きやリズムなどに注意して朗読する。
		随筆の味わい（枕草子・徒然草）	言葉の意味を考えながら古文を読み、ものの見方や考え方を豊かにする。
		・二千五百年前からメッセージ —孔子の言葉—	『論語』に示されたものの見方や考え方などについて感想をもつ。
	11	・ガイアの知性	論理的な展開の文章を読み取り、内容を受けとめる。
		・紙の建築	筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げ、深める。
	12	【メディアと表現】物語を読み解く	言語表現と映像表現の違いについて考える。
		【言語】類義語・対義語・多義語・同音語	日常生活言語を、いつもと違った視点から捉えなおす。
◆書写（書き初め）		文字の大小や、行の中心に気をつけて書く。	
		根拠をもとに意見文を書く	筆者の主張に対する意見文を書く。
3 学 期	1	・豚	詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。
		・走れメロス	人称の使い分けに注意して、その効果について考える。
	2	漢字の広場③ 漢字の多義性	漢字の多義性について確認する。
		【話し合う】目的に沿って	相手の立場を尊重し、目的に沿って話し合う。
		【言葉の決まりの学習③】付属語	助詞・助動詞の役割や種類と働きについて知る。
		・学ぶ力	「学ぶ力」という問題提起について自分の考えをもつ。
	3	・夢を跳ぶ	言葉のはたらきと体力向上について考える。
		漢字の広場④	同音異字や同音異義語について確認する。
		【読書】坊っちゃん	根拠をあげて、自分の意見を説得力のある文章にまとめる。

学習計画は、実態に応じて変更になることがあります。
必要に応じて便覧・文法・漢字の副教材を使用します。